

TUSルーブリック（工学部建築学科：2022年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	基礎学力（外国語）	一般科目の履修を通じて、外国語（読み・書き・プレゼン・討論）の能力を身に付けている。	0	外国語の能力が身に付いていない。
			1	外国語の能力が概ね身に付いており、母国語者と日常的なやりとりができる。
			2	外国語の能力が身に付いており、母国語者に自分の意見を述べることができる。
			3	外国語の能力が優れており、国際学会での発表・質疑応答に対応できる。
2	教養・倫理	一般科目、専門科目の履修を通じて、工学・建築学分野において求められる教養と倫理を身に付けている。	0	工学・建築学分野において求められる教養と倫理を身に付けていない。
			1	工学・建築分野と社会との係り合い、社会的な責任について概ね理解している。
			2	工学・建築分野と社会との係り合い、社会的な責任について理解しており、これらを考慮して物事を考えることができる。
			3	工学・建築分野と社会との係り合い、社会的な責任について深く理解しており、様々な視点から物事を深く考えて、適切で責任ある判断と行動ができる。
3	基礎学力	基礎科目の履修を通じて、工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を身に付けている。	0	工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を身に付けていない。
			1	工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を概ね身に付けている。
			2	工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を身に付けている。
			3	工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を十分に身に付けており、自分で新たな知識を獲得できる。
4	専門学力・知識	専門科目の履修を通じて、計画・環境・構造分野の専門知識が身に付いている	0	計画・環境・構造分野の専門知識が身に付いていない
			1	計画・環境・構造分野の専門知識を概ね理解している。
			2	計画・環境・構造分野の専門知識を理解し、活用できる。
			3	計画・環境・構造分野の専門知識の理解が優れ、課題の設定や複数の知識を組み合わせた応用もできる。
5	実践力・プレゼン力	専門科目の履修を通じて、実務の問題を発見して解決する能力、構想や成果などを表現するプレゼンテーション能力が身に付いている	0	実務の問題の発見・解決する能力、構想や成果などを表現するプレゼンテーション能力は身に付いていない
			1	実務の問題の発見・解決する能力、構想や成果などを表現するプレゼンテーション能力は概ね身に付いている
			2	実務の問題を発見し、専門知識と教養を活用して解決方法を立案できる。また、構想や成果などを表現するプレゼンテーション能力が身に付いている。
			3	実務の問題を発見し、専門知識と教養を活用して解決方法を立案し、遂行もできる。また、構想や成果などを効果的な表現を用いてプレゼンテーションする能力が身に付いている。
6	地域性・国際性	一般科目、専門科目の履修を通じて、地域や国際社会の課題・動向などを理解し、これらを考慮して行動する能力が身に付いている	0	地域や国際社会の課題・動向などを理解できていない
			1	地域や国際社会の課題・動向などを概ね理解している
			2	地域や国際社会の課題・動向などを理解しており、これらを考慮して適切に行動することができる。
			3	地域や国際社会の課題・動向など理解が優れており、国際的にも活躍できる能力を有している。

TUSルーブリック（工学部工業化学科：2022年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	専門分野の基礎知識	授業で学んだ内容を基に、異なる分野にまたがる演習問題を解くことができる	0	授業レベルで専門分野の基礎知識を有している
			1	授業で学んだ内容を基に、演習問題を解くことができる
			2	授業で学んだ内容を基に、異なる分野の関連性を理解できる
			3	授業で学んだ内容を基に、異なる分野にまたがる演習問題を解くことができる
2	専門分野の応用知識	専門分野の動向をディスカッションできる	0	授業レベルで専門分野の知識を活用できる
			1	専門分野の最新の動向を理解できる
			2	専門分野の最新の知識を活用できる
			3	専門分野の動向をディスカッションできる
3	自然科学の基礎知識	専門分野に限らず、自然科学の各分野において、研究動向や社会の流れを理解できる能力を有している	0	高校卒業レベルの物理・化学等の知識を有している
			1	大学1、2年生程度の自然科学の知識を有している
			2	異なる専門分野の動向を理解できる能力を有する
			3	異なる専門分野の専門家とディスカッションができる
4	教養	人文科学分野（歴史・社会・文化）において、自らの知見を持ち、他者に対して意見を述べることができる	0	高校卒業レベルの人文科学分野の知識を有している
			1	大学1、2年生程度の人文科学分野の知識を有している
			2	人文科学分野の動向を理解できる能力を有する
			3	人文科学分野について自分の意見を持って他者とディスカッションができる
5	学習意欲	授業に積極的に取り組むことができ、分からない点があれば調べ、自らの力で理解を深めることができる。	0	教員の指示があれば予習の上、授業に臨むことができ、復習することができる
			1	教員の指示なしに、授業の予習、復習ができる
			2	授業の予習、復習ができ、その際に分からない点があれば、積極的に調べるすることができる
			3	授業の予習、復習ができ、その際に分からない点があれば、積極的に調べることができる。また、授業以外の周辺分野にまで興味を持ち、積極的に調べるすることができる
6	コンピテンシー	集団の中で円滑にコミュニケーションを取りながら、チームワークよく、また適宜リーダーシップをもって行動できる。	0	指示があれば集団の中で行動することができる
			1	集団の目的達成のために、ある程度、自分から率先して行動できる
			2	集団の中で自分の立場を理解し、集団および周囲とある程度コミュニケーションを取りながら、問題に取り組むことができる
			3	集団の中で自分の立場をよく理解し、集団および周囲と十分なコミュニケーションを取りながら、問題に取り組むことができる
7	国際性	英語で自分の意見や感情を伝えることができるとともに、相手の話を理解することができる。	0	相手に自分の感情を体の動き等を使って伝えることができる
			1	準備した上であれば、英語で自分の意見や感情を伝えることができる
			2	英語で自分の意見や感情を伝えることができ、相手の話をある程度理解できる
			3	英語で自分の意見や感情を伝えることができ、相手の話を理解して、相手の意見にも適切に自分の見解を述べるることができる
8	問題解決能力	積極的にPDCAサイクルを回すことができ、問題解決に向けて積極的に取り組むことができる。	0	指示があれば、問題解決のために行動できる
			1	仮説を立て、問題に取り組むことができ、仮説の正誤を判断できる
			2	仮説を立て、計画に基づいて問題に取り組むことができ、仮説の正誤を判断する能力がある。また、短期間ではあるがPDCAサイクルで問題解決に臨むことができる
			3	仮説を立て、計画に基づいて問題に取り組むことができ、仮説の正誤を客観的な事実をもとに判断できる。また、根気強く継続的に問題解決に向けて努力することができ、積極的にPDCAサイクルで問題解決に臨むことができる

TUSルーブリック（工学部電気工学科：2022年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	国際性・コミュニケーション力	国際社会において十分な英語(外国語)の能力を持ち、国際的視野を持って相手を理解し、問題解決に向けた意思疎通ができる	0	国際的に個人やグループと英語(外国語)を用いてコミュニケーションをとる能力が不十分である
			1	国際的に個人やグループと英語(外国語)を用い、基本的な情報の提供、受け取りができる
			2	国際的に個人やグループと英語(外国語)を用い、問題解決に向けた基本的な意見交換ができる
			3	国際的に個人やグループと英語(外国語)を用い、相手を理解して問題解決に向けた意思疎通ができる
2	基礎学力	電気工学の専門分野の知識・技術を学ぶのに必要な基礎学力を習得している	0	基礎学力の習得が不十分である
			1	基礎学力の入門的な部分を習得している
			2	基礎学力を概ね習得している
			3	基礎学力を総合的に良く習得している
3	教養・倫理観	技術者として求められる自然・人間・社会に係る幅広い教養と倫理観を身につけ、ものごとを横断的に俯瞰することができる	0	技術者に必要な教養・倫理観の身につけ方が不十分である
			1	技術者に必要な教養・倫理観の基本的な部分を身につけている
			2	技術者に必要な教養・倫理観を概ね身につけている
			3	技術者に必要な教養・倫理観を良く身につけている
4	専門学力(エネルギー・制御)	当該分野において、専門家として問題発見・解決に必要なハードウェアとソフトウェアが結びついた知識・技術を習得している	0	必要な知識・技術の習得が不十分である
			1	必要な知識・技術の基本的な部分を習得している
			2	必要な知識・技術を概ね習得しており、問題発見・解決に用いることができる
			3	必要な知識・技術を良く習得しており、他の分野との関連を含めて問題発見・解決に用いることができる
5	専門学力(通信・情報)	当該分野において、専門家として問題発見・解決に必要なハードウェアとソフトウェアが結びついた知識・技術を習得している	0	必要な知識・技術の習得が不十分である
			1	必要な知識・技術の基本的な部分を習得している
			2	必要な知識・技術を概ね習得しており、問題発見・解決に用いることができる
			3	必要な知識・技術を良く習得しており、他の分野との関連を含めて問題発見・解決に用いることができる
6	専門学力(材料・エレクトロニクス)	当該分野において、専門家として問題発見・解決に必要なハードウェアとソフトウェアが結びついた知識・技術を習得している	0	必要な知識・技術の習得が不十分である
			1	必要な知識・技術の基本的な部分を習得している
			2	必要な知識・技術を概ね習得しており、問題発見・解決に用いることができる
			3	必要な知識・技術を良く習得しており、他の分野との関連を含めて問題発見・解決に用いることができる
7	問題発見・解決能力	電気工学分野に関する知識・技術と教養を元に、自ら問題を提起し、解決策を発見し、これを計画的に遂行する能力を習得している	0	問題発見とその解決に向けた状況把握、因果関係の理解が不十分である
			1	状況や因果関係を大まかに理解でき、問題をある程度明確に示すことができる。一般的な解決策を示すことができる
			2	状況や因果関係を理解でき、問題を明確に示すことができる。納得性のある解決策を示し、これを実行することができる
			3	状況や因果関係を理解でき、これまでに無い価値ある問題を示すことができる。独自ながら納得性・説得性のある解決策を示すことができ、計画的にこれを実行することができる

TUSルーブリック（工学部機械工学科：2022年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作文能力(日本語, 英語) ・ 文章読解能力(日本語, 英語) ・ プレゼンテーション能力(日本語, 英語)を身に付けている 	0	不十分
			1	最低限の能力を身に付けている
			2	多少の不備はみられるものの、身に付けている
			3	十分身に付けている
2	専門基礎力	機械工学の基礎的な知識と能力を身に付けている	0	不十分
			1	最低限の能力を身に付けている
			2	多少の不備はみられるものの、身に付けている
			3	十分身に付けている
3	専門応用力	機械工学の高度な専門的知識と能力を身に付けている	0	不十分
			1	最低限の能力を身に付けている
			2	多少の不備はみられるものの、身に付けている
			3	十分身に付けている
4	基幹基礎力	機械工学を学ぶ上で必要な基幹基礎力（数学, 物理, 化学）を身に付けている	0	不十分
			1	最低限の能力を身に付けている
			2	多少の不備はみられるものの、身に付けている
			3	十分身に付けている
5	一般教養	大学生として必要な一般教養を身に付けている	0	不十分
			1	最低限の知識を身に付けている
			2	多少の不備はみられるものの、身に付けている
			3	十分身に付けている
6	エンジニアリングセンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文献調査 ・ 問題発見・解決能力 ・ 修得した知識をもとに考察して意見をまとめる力を身に付けている 	0	不十分
			1	最低限の能力を身に付けている
			2	多少の不備はみられるものの、身に付けている
			3	十分身に付けている

TUSルーブリック（工学部情報工学科：2022年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	自然科学の基礎知識（微分積分、線形代数、物理学）	専門分野に限らず、自然科学の各分野において、研究動向や社会の流れを理解できる能力を有している	0	自然科学の基礎知識を理解できていない
			1	自然科学の基礎知識を概ね理解している
			2	自然科学の基礎知識を十分理解している
			3	自然科学の基礎知識をもとに異なる専門分野の動向を理解できる
2	専門分野の基礎知識（専門基礎科目、専門必修科目）	情報工学分野の基礎となる専門知識を十分に理解し、相手に理解させる能力を有している	0	専門分野の基礎知識を理解できていない
			1	専門分野の基礎知識を概ね理解している
			2	専門分野の基礎知識を十分理解している
			3	専門分野の基礎知識が実際の情報工学への応用にどのように関連しているかを理解している
3	専門分野の応用知識（選択必修科目、実験、演習科目、卒業研究）	専門基礎分野を理解した上で、情報工学の各分野に必要な応じて適切な応用を図る能力を有している	0	専門分野の応用知識を理解できていない
			1	専門分野の応用知識を概ね理解している
			2	専門分野の応用知識を十分理解している
			3	専門分野の応用知識を活用して、情報工学分野の動向を議論できる
4	学習意欲・俯瞰力（専門科目）	授業に積極的に参加し、理解可能な部分と不可能な部分を明確に区別でき、自らの力で文献を参照することにより理解を深めることができる	0	教員の指示がなければ授業の予習、復習ができない
			1	教員の指示なしに授業の予習、復習ができる
			2	授業の予習、復習ができ、その際に分からないことがあれば、積極的に調べるができる
			3	当該授業科目以外の周辺の分野にまで興味を持ち、積極的かつ横断的にものごとを調べるができる
5	コンピテンシー（工学基礎実験、情報工学実験、卒業研究）	集団の中で円滑にコミュニケーションを取りながら、協調性に富み、また適宜リーダーシップをもって行動できる	0	集団の目的達成のために、自分から率先して行動できない
			1	集団の目的達成のために、ある程度、自分から率先して行動できる
			2	集団の目的達成のために、積極的に、自分から率先して行動できる
			3	集団の中で自分の立場を理解し、コミュニケーションを十分に取しながら、積極的に問題に取り組むことができる
6	国際性（英語）	英語で自分の意見や感情を伝えることができるとともに、相手の話を理解することができる	0	英語で自分の意見や感情を伝えることができない
			1	準備をすれば、英語で自分の意見や感情を伝えることができる
			2	準備をしなくても、英語で自分の意見や感情を概ね伝えることができる。相手の話を概ね理解できる
			3	英語で自分の意見や感情を十分に伝えることができる。相手の話を十分に理解できる。
7	問題解決能力（卒業研究）	積極的にPDCAサイクルを回すことができ、問題解決に向けて積極的に取り組むことができる	0	仮説を立てて、問題に取り組むことができない
			1	仮説を立てて、問題に取り組むことができ、仮説の真偽を判断できる
			2	仮説を立てて、計画的に問題に取り組み、仮説の真偽を概ね判断できる。PDCAサイクルで問題解決に臨むことができる
			3	自ら興味あるテーマを見だし、関連する学術論文の内容を理解できる。仮説を立てて、計画的に問題に取り組み、仮説の真偽を客観的な事実に基づいて判断できる。積極的にPDCAサイクルで問題解決に臨むことができる
8	一般教養	人文科学分野（歴史・社会・政治・経済）において、自らの知見を持ち、他者に対して意見を述べるができる	0	高校卒業レベルの人文科学分野の知識を有している
			1	大学1、2年生程度の人文科学分野の知識を有している
			2	人文科学分野の動向を理解できる能力を有する
			3	人文科学分野について自分の意見を持って他者とディスカッションができる

TUSルーブリック（工学部建築学科夜間主社会人コース：2022年度新入生）

評価項目No	評価項目の名称	評価項目内容	ルーブリックによる達成レベル評価	
1	基礎学力（外国語）	一般科目の履修を通じて、外国語（読み・書き・プレゼン・討論）の能力を身に付けている。	0	外国語の能力が身についていない。
			1	外国語の能力が概ね身についており、母国語者と日常的なやりとりができる。
			2	外国語の能力が身に付いており、母国語者に自分の意見を述べるができる。
			3	外国語の能力が優れており、国際学会での発表・質疑応答に対応できる。
2	基礎学力	基礎科目の履修を通じて、工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を身に付けている。	0	工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を身に付けていない。
			1	工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を概ね身に付けている。
			2	工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を身に付けている。
			3	工学・建築学の知識や技術を学ぶのに必要な基礎学力を十分に身に付けており、自分で新たな知識を獲得できる。
3	専門学力・知識	専門科目の履修を通じて、計画・環境・構造分野の専門知識が身に付いている。	0	計画・環境・構造分野の専門知識が身に付いていない。
			1	計画・環境・構造分野の専門知識を概ね理解している。
			2	計画・環境・構造分野の専門知識を理解し、活用できる。
			3	計画・環境・構造分野の専門知識の理解が優れ、課題の設定や複数の知識を組み合わせた応用もできる。
4	実践力・プレゼン力	専門科目の履修を通じて、実務の問題を発見して解決する能力、構想や成果などを表現するプレゼンテーション能力が身に付いている。	0	実務の問題の発見・解決する能力、構想や成果などを表現するプレゼンテーション能力は身に付いていない。
			1	実務の問題の発見・解決する能力、構想や成果などを表現するプレゼンテーション能力は概ね身に付いている。
			2	実務の問題を発見し、専門知識と教養を活用して解決方法を立案できる。また、構想や成果などを表現するプレゼンテーション能力が身に付いている。
			3	実務の問題を発見し、専門知識と教養を活用して解決方法を立案し、遂行もできる。また、構想や成果などを効果的な表現を用いてプレゼンテーションする能力が身に付いている。
5	地域性・国際性	一般科目、専門科目の履修を通じて、地域や国際社会の課題・動向などを理解し、これらを考慮して行動する能力が身に付いている。	0	地域や国際社会の課題・動向などを理解できていない。
			1	地域や国際社会の課題・動向などを概ね理解している。
			2	地域や国際社会の課題・動向などを理解しており、これらを考慮して適切に行動することができる。
			3	地域や国際社会の課題・動向など理解が優れており、国際的にも活躍できる能力を有している。